

女子應用幾何畫法解說

全

22

60

女子應用幾何畫法解説

河 端
北 垣 己 之

直 助
治 明
著 2
交 内

第一圖 定直線ヲ二等分スル法

(畫法) 定直線ノ一端Aヲ中心トシ任意ノ半徑ヲ以テba

ノ二弧ヲ畫キ又同半徑ヲ以テBヲ中心トシa'b'ノ二弧

ヲ畫キテc'c'ニ於テ交ラシメ同點ヲ結ベバc'c'線トA

B線ノ交點dハ即チ所要ノ二等分點ナリ

(注意) 圓規ノ針端ヲ固定シタル點ヲ中心トイヒ圓規ノ兩脚間ノ幅ヲ

半徑トイフ

第二圖 直線上ノ定點ニ垂線ヲ畫ク法

第一圖 第二圖

(畫法) AB 定直線上ノ定點 P ノ左右ニ任意ノ等距離 Pa 及 Pb ナ AB 線上ニ置キ任意ノ同半徑ヲ以テ a 及 b 點ヲ中心トシテ弧ヲ畫キ c 點ニ交ラシメ P c 二點ヲ結ベバ P c 線ハ即チ所要ノ垂線ナリ

第三圖 定直線上ノ一端ニ垂線ヲ立ツル法

(畫法) AB 定直線ノ一端ニ近ク斜ノ上方ニ任意ノ一點 b ヲ設ケ同點ヲ中心トシテ定直線ノ一端 B マデノ長サヲ半徑トシテ弧ヲ畫キ A B 直線ノ a 點ニ於テ交ラシメ a 點ヨリ b 點ヲ通シテ直線ヲ引キ弧線ト P 點ニ於テ會セシム而シテ P B ナ結ビタル P B 線ハ即チ所要ノ垂線ナリ

第四圖 定直線外ニアル定點ヨリ定直線ニ

垂線ヲ畫ク法

(定點定直線外ニアリテ同線中央ノ上ニアル場合)

(畫法) 定點 P ナ中心トシ任意ノ半徑ヲ以テ弧ヲ畫キ a b 二點ニ於テ A B 線ヲ切り更ニ此 a b 二點ヲ中心トシテ任意ノ同半徑ヲ以テ二弧ヲ畫キ c 點ニ於テ相交ラシメ P c 二點ヲ結ビタル P c 線ハ即チ所要ノ垂線ナリ

第五圖 定直線外ニアル定點ヨリ定直線ニ

垂線ヲ立ツル法

(定點定直線一端ノ上ニアル場合)

(畫法) 所要ノ垂線ガ A B 線ト交ルベキ假定ノ位置ニ近ク任意ノ點 b ナ A B 線ニ取り同點ヲ中心トシ b P ナ半徑トシテ弧ヲ畫キ又定直線ノ一端 A ニ近キ所ニ任意ノ點

a ナ A B 線ニ取り同點ヲ中心トシ a p ナ半徑トシ弧ヲ
畫キ二弧ヲ p c 二點ニ於テ相交ラシメ p c 二點ヲ結ビ
タル p c 線ハ所要ノ垂線ナリ

第六圖 定點ヲ貫通シ定直線ニ平行線ヲ畫ク法

(畫法) 定點 p ナ中心トシ任意ノ半徑 p b ナ以テ c b 弧ヲ
畫キ b 點ニ於テ定直線 A B ナ切り又 b ナ中心トシ同半
徑ヲ以テ p a 弧ヲ畫キ a 點ニ於テ A B 線ヲ切ル次ニ p
a ニ等シキ距離ヲ b ヨリ b c 弧ノ c 點ニ置キ而シテ p
c 二點ヲ結ビタル p c 線ハ即テ所要ノ平行線ナリ

第七圖 定直線ヨリ定距離ニ於テ同線ニ平
行線ヲ畫ク法

(畫法) A B 定直線ニ於ケル任意ノ二點ヲ中心トシ定距離

ヲ半徑トシテ a b 及ビ c d 二弧ヲ記シ此二弧ニ共通ノ
觸線 C D ナ畫ケバ即テ所要ノ平行線ナリ

第八圖 定直線ヲ任意ノ數ニ等分スル法

(畫法) 定直線ノ一端 A 點ヨリ任意ニ斜ノ A C 線ヲ畫キ A
點ヨリ始メテ等分スベキ數丈ケ A C ニ於テ順次任意ノ
等距離ヲ置キ最終點 C 點ヲ B 點ト結ビ他ノ諸點ヲ通シ
B C 線ニ平行線ヲ畫クトキハ同平行線ノ A B 線ト相交
ハル點ハ即テ所要ノ等分點ナリ

第九圖 甲定線ノ區分セル比例ニ乙定直線
ヲ區分スル法

第一法

(畫法) 甲 A B 直線ノ A 點ヨリ傾角ヲナシテ乙 C D 直線ヲ

置キ兩線端 B D ナ結ビ甲 A B 線ノ分點ヘトチリヌ等ヲ通シ B D 線ニ平行線ヲ畫クトキハイロハニホ等ノ諸點ヲ得是レ即チ所要ノ比例點ナリ

第二法

(畫法) 甲 A B 線外ニ任意ノ點 C' ナ設ケ C' B 及ビ C' A ナ結ビ A B 線ニ於テ乙 C D 線ニ等シク A X ナ置キ C' A 線ニ平行ナル線 X D ナ畫キ D 點ニ於テ C' B 線ニ會セシメ而シテ A B 線ニ平行シテ C D 線ヲ引キ C 點ニ於テ C' A 線ニ會セシムルトキハ C D 線ハ即チ乙定直線ニ等シ次ニイロハニホ等ノ各點ト C' ナ結ブトキハ C D 線ニ於テハトチリヌノ諸點ヲ得是レ即チ所要ノ比例點ナリ

第十圖 定角ヲ二等分スル法

(畫法) A B C 定角ノ A B 及ビ A C 二線ニ於テ A 點ヨリ任意ノ等距離 A イ 及ビ A ロ ナ置キ、イロノ二點ヲ中心トシ任意同半徑ヲ以テ弧ヲ畫キハ點ニ於テ相交ラシメ A ハヲ結ベバ A ハ線ハ即チ所要ノ二等分線ナリ

第十一圖 直角ヲ三等分スル法

(畫法) A B C 直角ノ A 點ヲ中心トシ任意ノ半徑ヲ以テ弧ヲ畫キテ A B 線ヲ二點ニ A C 線ヲハ點ニ於テ切ル次ニニハ二點ヨリ同半徑ヲ用井同弧ヲイロ二點ニ於テ切り A ロ 及ビ A イ ナ結ベバ A ロ 及ビ A イ ハ直角ヲ三等分シタルモノナリ

練習

一、界紙ノ上下欄ノ間ヲ四等分セヨ

- 二、ナホマタ八等分セヨ
 - 三、長サ九寸ノ直線ノ兩端ト中央トニ長サ三寸宛ノ垂線ヲ畫ケ
 - 四、長サ八寸ノ直線ヲ引キノ一端ヨリ二寸毎ニ垂線ヲ畫ケ
 - 五、十二行界紙ヲ十八等分シテ横罫ヲ引ケ
 - 六、長サ七寸ノ直線ヲ二、四、五ノ比例ニ區分セヨ
 - 七、長サ七寸ノ直線ノ中央ニ三寸ノ垂線ヲ立テ同垂線ヲ四等分セヨ
 - 八、直角ヲ六等分セヨ
- 圓ニ關スル畫法
- 本章ニ於テ中心ト半徑ヲ知ラバ圓ハ定マルモノトセリ

第十二圖 二定點ヲ貫キ定半徑ノ圓ヲ畫ク法

(畫法) 定點P、Qヲ中心トシ定半徑ノ長サヲ以テ二弧ヲ畫キO點ニ於テ相會セシメ同點ヲ中心トシ定半徑ヲ以テ圓ヲ畫ケバ即チ所要ノ圓ナリ

第十三圖 一直線ニアラザル三定點ヲ貫キ

タル圓ヲ畫ク法

(畫法) 二定點P、Qヲ中心トシ任意ノ半徑ヲ以テ弧ヲ畫キイ、ロ二點ニ相交ラシメ又定點P、Rヲ中心トシ同シク任意ノ同半徑ヲ以テ弧ヲ畫キハ、ニ二點ニ於テ相交ラシム而シテイ、ロ及ビハニヲ結ベル兩線ノ交點Oヲ中心トシO、Qノ長サヲ以テ圓ヲ畫ケバ即チ所要ノ圓ナリ

附曰定圓ノ中心ヲ求ムル法ハコレニヨリテ畫クコトヲ得ルナリ

第十四圖 圓周ノ定點ニ於テ定圓ニ切線ヲ

畫ク法

(畫法) 定點Pト圓心Oヲ結ビPヲ通シPO垂直ナルイロ線ヲ畫ケバイロハ所要ノ切線ナリ

第十五圖 圓外ノ定點ヨリ定圓ニ切線ヲ畫ク法

(畫法) 定點Pト圓心Oヲ結ビPO線ノ二等分點ロヲ中心トシテロOノ半徑ヲ以テ半圓ヲ畫キイ點ニ於テ圓周ト相會セシメPイヲ結ベバユレ即テ所要ノ切線ナリ

附曰ロヲ中心トシテロOノ半徑ヲ以テ圓ヲ畫ケバ圓ハ圓周ノ二點ニ相會スルヲ以テ二個ノ切線ヲ引クコトヲ得ベシ

第十六圖 大小ノ二定圓ニ共通切線ヲ畫ク法

第一法

(畫法) 大定圓ノ中心oヲ中心トシテ大小二圓ノ半徑ノ差ニ等シキ半徑ヲ以テb'b'f圓ヲ畫キ小定圓ノ中心o'ヨリ切線o'b'及ビo'a'ヲ畫ク而シテ此ノ二切線ニ平行シテ二定圓ニ觸ル、hg及ビh'g'ノ二線ヲ畫ケバ所要ノ切線ヲ得ルナリ

第二法 切線二定圓ノ中間ニ交ル場合

(畫法) 大定圓ノ中心oヲ中心トシテ大小二定圓半徑ノ和ニ等シキ半徑ヲ以テa'c'a'弧ヲ畫キ小定圓ノ中心o'點ヨリ切線o'a'及ビo'a'ヲ畫ク而シテ此二切線ニ平行シテ大小二定圓ニ觸ル、e'd'及ビe'd'ノ二線ヲ畫ケバ所要ノ切線ナリ

練習

- 一、一字三星ノ紋ヲ畫ケ
- 二、同中心ヲ有スル半徑三寸ト半徑二寸ノ二圓ヲ畫ケ
- 三、丸ニ三鱗ノ紋ヲ畫ケ
- 四、定圓外ニアル定直線ニ平行シテ定圓ニ切線ヲ畫ケ
但シ定直線ハ如何ニ延長スルモ定圓周ニ會セザルモノトス
- 五、定圓外ノ定點ヲ中心トシテ定圓ニ觸ル、圓ヲ畫ケ
- 六、定圓周ノ定點ニ觸レタル半徑二寸ノ圓ヲ畫ケ

第十七圖 正三角形ヲ畫ク法

(畫法) 直線A Bヲ引キBヲ中心トシA Bヲ半徑トシテ弧ヲ畫キ又Aヲ中心トシ同半徑ノ弧ヲ畫キC點ニ於テ相交ラシメB C及ビA Cヲ結ベバ即チ所要ノ正三角形ナリ

第十八圖 一邊及ビ對角線ヲ知ツテ矩形ヲ畫ク法

(畫法) 對角線ノ長サニ等シクA B線ヲ設ケ同線ノ等分點イヲ中心トシイAヲ半徑トシテ半圓ヲ畫キ定邊ニ等シキ半徑ヲ以テ同半圓ヲ切リテA C線ヲ畫キC B二點ヲ結ビBヲ中心トシテ定半徑ヲ以テ弧ヲ畫キ又Aヲ中心トシテC Bノ長サヲ半徑トナシタル弧ヲ畫キテD點ニ交ラシメ圖ノ如ク平行四邊形ヲ作ルトキハA C B Dハ所要ノ矩形ナリ

第十九圖 一邊及ビ二角ヲ知テ三角形ヲ畫ク法

(畫法) 定邊ニ等シクA B線ヲ設ケ定角ノ角頂イヲ中心トシテハ口ノ弧ヲ畫キ同半徑ヲ以テ定邊ノ一端Aヲ中心

トシ弧ヲ畫キbヲ中心トシテハ口ノ距離ヲ半徑トシテ
 同弧ヲaニ於テ切ル又ヘヲ中心トシテチトノ弧線ヲ畫
 キ同半徑ヲ以テBヲ中心トシ弧ヲ畫キdヲ中心トシテ
 チトノ距離ヲ半徑トシテ同弧ヲcニ於テ切り而シテB
 c及ビAaヲ結ビタル二直線ヲ畫ケバC點ニ相會ス是
 レ即チ所要ノ三角形ナリ

第二十圖 邊ヲ知テ正方形ヲ畫ク法

(畫法) 定邊ニ等シクAB線ヲ置キAB兩端ニ於テ同線ニ
 垂線ヲ畫キ同二垂線ヲ各定邊ニ等シキ距離ニ切りcd
 二點ヲ結ブトキハ所要ノ正方形ナリ

第二十一圖 邊ヲ知ツテ正五角形ヲ畫ク法

(畫法) 定邊ノ長サニ等シクAB線ヲ置キコレヲ二等分シ

タルc點ヨリ垂線ヲ立テABニ等シクcfヲ取りAf
 ナ結ビg點迄延長シテABノ半ニ等シクgfヲ置キ而
 シテAヲ中心トシAgヲ半徑トシテ弧ヲ畫キe點ニ於
 テce線ヲ切ル次ニAe二點ヲ中心トシABノ長サヲ
 以テ弧ヲ畫キh點ニ會セシメ又Beヲ中心トシ同半徑
 ナ以テ弧ヲ畫キe'點ニ會セシム而シテee'B及ビeA
 hノ諸點ヲ結ブトキハ所要ノ正五角形ナリ

第二十二圖 邊ヲ知ツテ正六角形ヲ畫ク法

(畫法) 定邊ニ等シクAB線ヲ引キbヲ中心トシテbaヲ
 半徑トシテ弧ヲ畫キ又Aヲ中心トシテ同半徑ヲ以テ弧
 ナ畫ケバoニ於テ二弧相會ス次ニoヲ中心トシ同半徑
 ナ用井圓ヲ畫キ更ニ同半徑ヲ以テ順次圓周ヲ切りテf

e d c ナ得而シテ各點ヲ結ブトキハ得ラレタル多角形ハ所要ノ正六角形ナリ

第二十三圖 圓ヲ任意ノ數ニ等分スル法

(コ、ニハ七等分ノ場合ヲ示ス)

(畫法) 圓ノ直徑 A B 二點ヲ中心トシ A B ノ長サヲ半徑トシテ弧ヲ畫キ C 點ニ於テ交ラシメ A B 直徑ノ七等分點 2 ト C ナ結ビ延長シテ圓周ノイ點ニ會セシム而シテ A イノ長サヲ以テ順次圓周ヲ切りイロハニホヘテ得是レ所要ノ等分點ナリ

第二十四圖 邊ヲ知テ任意ノ正多角形ヲ畫ク法

(コ、ニハ正七角形ヲ畫ク法ヲ示ス)

(畫法) 定邊ニ等シク A B 線ヲ畫キ A 點ヲ中心トシ任意ノ

半徑ヲ以テ半圓ヲ畫キ 1 2 3 4 5 6 等ノ諸點ニ於テ所要多角形ノ邊ノ數ト同數ニ半圓周ヲ等分シ第一分點ヲ除キ他ノ分點 2 3 4 5 6 ト A 點ヲ結ブベシ而シテ A B ナ半徑トシテイ點ニ於テ A 2 線ヲ切り又イ點ヲ中心トシ同半徑ヲ以テ A 3 線ヲロニ於テ切り順次同様ノ方法ヲ用井ハニホ等ノ諸點ヲ求ムベシ然シテイロハニホ等ノ諸點ヲ結ビテ得タル多角形ハ即チ所要ノ正七角形ナリ

第二十五圖 不等邊三角形ニ内接圓ヲ畫ク法

(畫法) A B C ノ不等邊三角形ヲ畫キ B 角ヲ二等分シ又 A 角ヲ二等分シテ兩線ヲ O ニ會セシム O ヨリ A B 線ニ垂線ヲ引キ A B 線上 e ニ於テ交ラシメ而シテ O ナ中心ト

シ O e ナ半徑トシテ圓ヲ畫ケバユレ即チ所要ノ内接圓ナリ

第二十六圖 不等邊三角形ニ外接圓ヲ畫ク法

(書法) ABCノ不等邊三角形ヲ畫キBC邊ヲ二等分シ又AB邊ヲ二等分シテO點ニ會セシメOB二點ヲ結ビOヲ中心トシOBノ半徑ヲ以テ圓ヲ畫ケバ所要ノ外接圓ヲ得ルナリ

第二十七圖 橢圓形ヲ畫ク法

(書法) 任意ノ矩形ABCDヲ畫キユレナイロノ直線ヲ以テ二等分シ對角線Aロ、Cイ、及ビDイ、Bロヲ作ル次ニロヲ中心トシAロヲ半徑トシテAB弧ヲ畫キ又イヲ中心トシ同半徑ヲ以テCD弧ヲ畫ク而シテハハヲ中心トシハ

Aヲ半徑トシテAC弧ヲ畫キ又二ヲ中心トシ同半徑ヲ以テBD弧ヲ畫ク然ルトキハ四ケノ弧線連續シテ橢圓類似ノ圖形ヲ得ルナリ

第二十八圖 卵形ヲ畫ク法

(書法) 圓ヲ畫キ互ニ直角ニ交ハル直徑AB、CDヲ畫キBDトADヲ結ビタル線ヲ延長シAロ及ビBイノ二線ヲ引キ次ニBヲ中心トシテABヲ半徑トシテ弧ヲ畫キBイ線ト會セシメ又Aヲ中心トシ同半徑ヲ以テ弧ヲ畫キBロ線ニ會セシム而シテDヲ中心トシDイヲ半徑トシテ弧ヲ畫ケバCABノ半圓トAイロBノ弧ト連續シテ卵形ヲ成スナリ

第二十九圖 渦線ノ畫法

(畫法) 成ルベク小ナル正三角形イロハヲ畫キ各邊ヲ圖ノ如ク一方ニ延長シイヲ中心トシイハヲ半徑トシテハニ弧ヲ畫キロヲ中心トシロニヲ半徑トシテニホ弧ヲ畫ク又ハヲ中心トシハホ半徑ヲ以テホへ弧ヲ畫ク以下順次之ノ方法ヲ以テ弧線ヲ連續シタルモノハ一種ノ渦線ナリ

第三十圖 波線ノ畫法

(畫法) 直線ヲイロハニホへノ等距離ニ取り各點ニ同長ノ垂線イア、ロウ、エハ、ニオ、ホカ、キへ、等ヲ一ツ置キニ反對ノ方向ニ置キイロノ二等分點Aトアノ距離ヲ半徑トシアヲ中心トシテOA弧ヲ畫キ次ニウヲ中心トシ同半徑ヲ以テAB弧ヲ畫ク又エヲ中心トシ同半徑ヲ以テBC弧

ヲ畫ク以下準次此ノ方法ヲ用井テ其弧線ヲ連續スル時ハ一種ノ波線ヲ成スナリ

練習

- 一、正三角形ニ内外接圓ヲ畫ケ
- 二、正方形ニ内外接圓ヲ畫ケ
- 三、圓内ニ正方形ヲ畫ケ同シク正八角形ヲ畫ケ
- 四、定圓ニ内接スル正六角形ヲ畫ケ同シク十二角形ヲ畫ケ
- 五、正六角形ニ内接スル圓ヲ畫ケ
- 六、直徑八寸ノ圓柱ヲ最大ノ正六角柱ニ削ルトキハ同柱ノ底面ノ一邊ノ長サハ何寸トナルカ
- 七、一邊ノ長サ六寸ノ正九角形ヲ畫ケ
- 八、波線ヲ海上ノ波ニ象リ其ノ上ニ日出ヲ畫キテ一圖ヲ作

セ

第三十一圖 三角定規ヲ用井平行ナル直線ヲ
畫ク法

第一法

(畫法) A B 直線ト一致シテ定規 Q ノ一邊ヲ置キ他ノ一邊ニ密接セシメテ R 定規ノ一邊ヲアテ左手ニテ R 定規ヲ確ト紙面ニ壓附ケ同定規ノ弦邊ニ沿フテ Q 定規ヲ滑ラズベシ然ルトキハ最初 A B ニ沿ヘル Q 定規ノ一邊ノ位置 c d ハ A B ニ平行ナルベシ

第二法 垂線ヲ畫ク法

(畫法) A B 定直線ト一致セシメテ Q 定規ノ直角ニ隣レル一邊ヲ置キ同定規ノ弦邊ニ密接シ R 定規ヲ定置シ左手

ニテ R 定規ヲ確ト紙面ニ壓附ケ Q 定規ヲ滑ラスベシ Q 定規任意ノ位置ニ於ケル他ノ邊 e f g ハ即チ垂線ナリ
イロハ定規ノ如ク使用スルモ可ナリ

第三十二圖 裁チ方ノ畫法

簡畧ナル一ツ身ノ裁チ方ノ圖ヲ示シタルモノニシテ其ノ他如何ナル混雜ノ裁チ方モコノ方法ニヨリテナスコトヲ得ベシ

第一法 大ブリーツ身襦袢ノ裁チ方

袖丈一尺四寸、衿丈二尺五寸、身丈一尺一寸
衿幅二寸五分、衿肩一寸

(コ、ニハ木綿尺ヲ二十分ノ一ノ縮尺ニテはかりタルモノニシテ即チ木綿尺ノ五分ヲ一尺トナシタルモノナリ)

(畫法) イロノ直線ヲ長サ七尺八寸トナシ其ノ兩端イロニ

長サ九寸ノ垂線ヲ立テイロハニノ長方形ヲ作ル、次ニハニ線上ニ於テ長 $L \times H \parallel G$ ノ袖丈ハトヲ取り、トホノ垂線ヲ畫ケバトニハ身丈ナリ。而シテイハ線上ニ於テイヘノ衿巾 OSS ナ取りイロ線ニ並行ニヘリ線ヲ引キハト線ノ二等分點チヨリチルノ垂線ヲ畫ク最後ニホトノ等分點ヌヨリホロノ中央迄ヌレ線ヲ取レバ所要ノ大ブリーツ身襦袢ノ裁チ方ヲ得ルナリ

第二法 一ツ身普通ノ裁チ方

袖丈一尺三寸、袖幅五寸、おくひ幅三寸三分、
ゑり幅一寸二分、身丈一尺九寸、

第三法 一ツ身ノ裁チ方

幅一尺一寸、長サ一丈ノ唐縮緬ヲ以テ裁チタルモノナリ

解説ハ略ス、第一法ノ方法ヲ用ヰテ畫ケバ容易タルベシ

第三十三圖 方眼ヲ作ル法

(畫法) ABCDノ線ヲ畫キACヲ任意ノ數ニ等分シ又等シクCD線ヲ等分シCAノ等分點ヨリABニ並行線ヲ順次ニ引キ又CDノ等分點ヨリCAニ並行線ヲ引クトキハ即チ所要ノ方眼ヲ得ルナリ

第三十四圖 菱眼ヲ作ル法

(畫法) ABノ直線ヲ引キユレテ若干數ニ等分シB及ビAニBC及ビADノ垂線ヲ引ク而シテABヲ一邊トシテBAfノ正三角形ヲ畫キBf及ビAf線ヲ延長ス次ニAB線上ノ等分點ヲ通シテAf及ビBfニ並行ニ引キタル線ガBC及ビADニ會シタル諸點ヲ通シテBf及

ビ Af ニ並行ナル線ヲ引クトキハ所要ノ菱眼ヲ得ルナリ

コノ方眼及ビ菱眼ヲ應用シテ數種ノ模様畫ヲ作ルコトヲ得ベシ。應用模様ニヨツテ解スベシ。

女子應用幾何畫法解説終

女子應用幾何畫法附錄

明治三十七年二月廿九日發行
明治三十六年十二月廿六日訂正再版印刷
明治三十五年十二月廿七日發行



不許複製

著者 河端直

著者 北垣己之助

東京市日本橋區馬喰町二丁目一番地

發行者兼 鹿島長次郎

印刷所 同

印刷所 興文社工場

東京市日本橋區馬喰町二丁目一番地

發行所

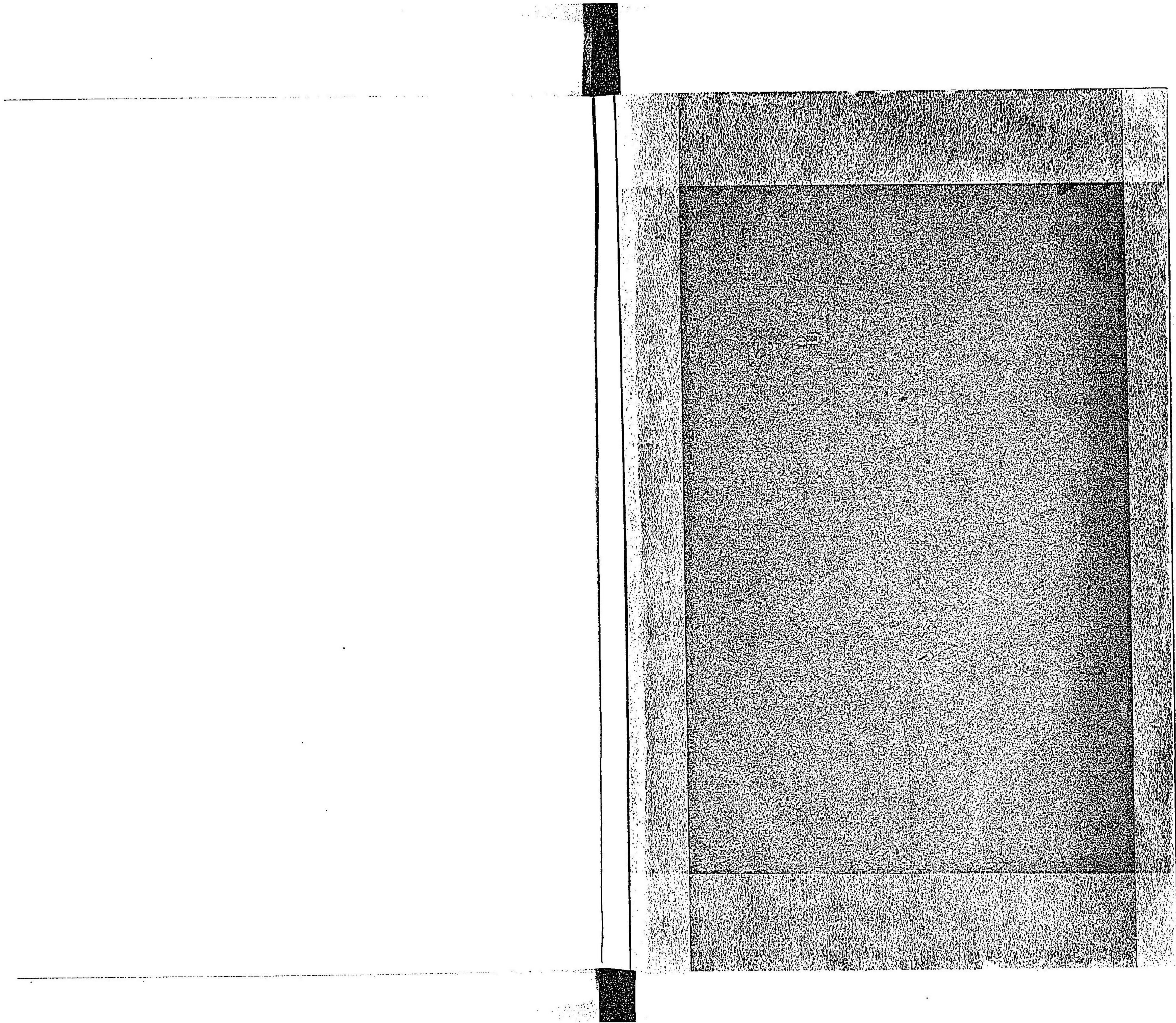
興文社

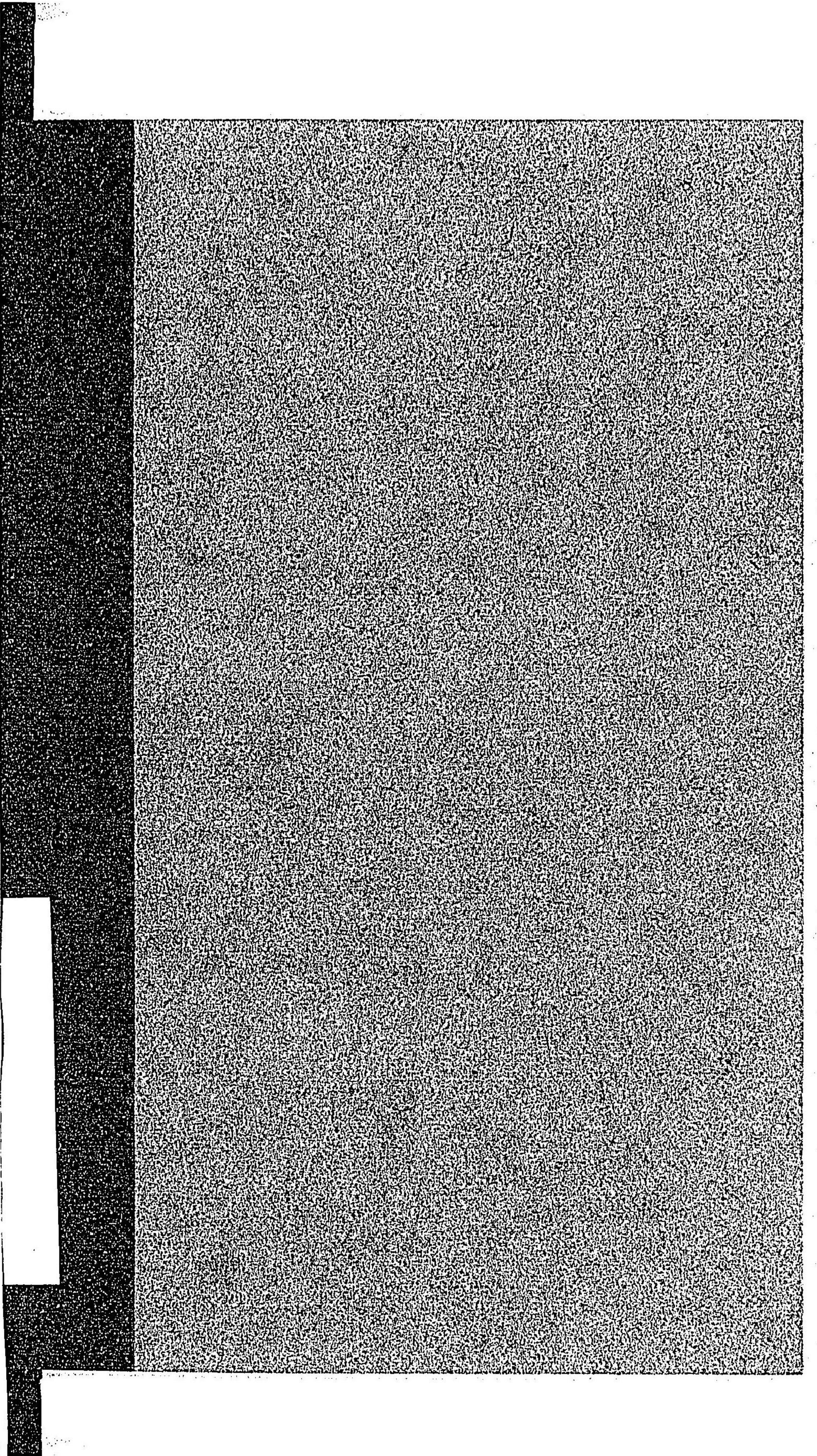
電話浪花一四六〇番

大坂市東區南久寶寺町四丁目

關西大賣捌

前川善兵衛





特55

240

女子応用幾何画法
解説

国立国会図書館

065999-000-6

特55-240

女子応用幾何画法解説

河端 直

北垣 己之助 / 著

M37.2

CDA-0366

